

まちづくりについて考えよう！

盛岡シネマタウン社会実験フォーラム

～中心市街地の活性化を目指して～

2月19日(土)、盛岡市のリリオ大通会館において、「盛岡シネマタウン社会実験フォーラム」が盛岡シネマタウン社会実験実行委員会の主催により開催されました。

これは、昨年の10月に盛岡の大通において一般車両を止めて循環バスを走らせる社会実験を行い、各種調査結果の報告と、これからの大通・菜園地区のあり方について、みなさまと意見の交換を行うために開催したもの。

そこで、社会実験の概要について紹介します。

1. はじめに

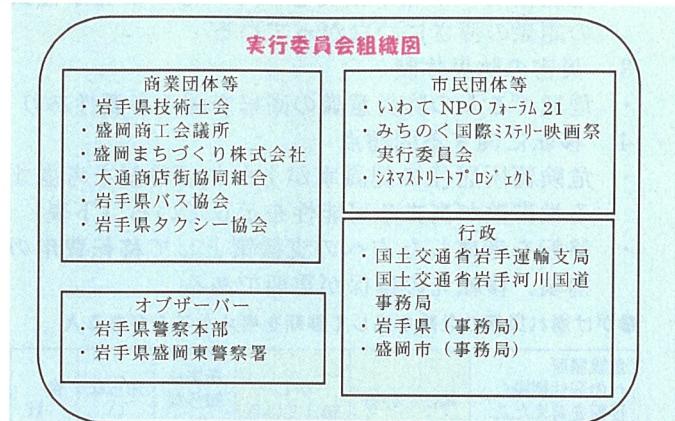
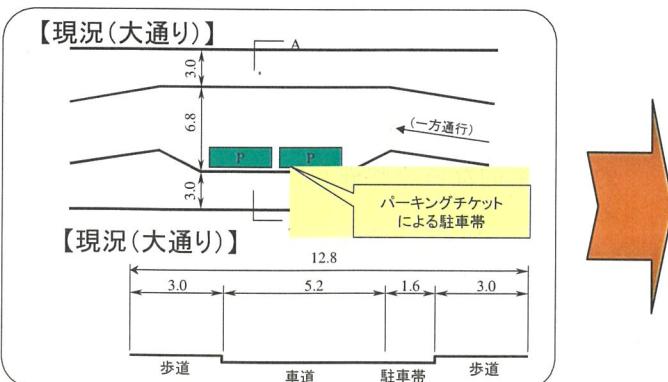
全国的に中心市街地疲弊が深刻化していますが、中心市街地は地域の「顔」であると同時に、人口減少社会、環境共生社会における持続可能な都市の実現において重要な位置を占めています。疲弊の原因は様々な要因が絡み合っているうえに、特性は都市によって異なっており、各々の都市の個性を活かした活性化の手法を考えることが重要です。

盛岡市の大通り周辺は全国的には「元気なまち」の部類に位置づけられていますが、近年は郊外に大型SCが出店し、盛南地区にも同規模の郊外大型SCの出店が決定するなど、大通りを取り巻く状況は他の都市同様に厳しさを増しています。

このような状況において、郊外の大型店やロードサイドショップと違った魅力を創出し、活性化につなげていくことが大通り商店街の課題です。盛岡市中心部は居住人口が多く、商業機能、業務機能も比較的コンパクトにまとまっていることから、平成12年3月に策定された盛岡市中心市街地活性化基本計画においては「歩いて楽しむまち」が基本方針の1つとして打ち出されています。

2. 社会実験とは？

地域が抱えている問題を解決するため、新しい施



策を場所と期間を限定して実際に体験することで、施策を実現するかどうかの判断をするものです。国土交通省道路局では平成15年までに65件の社会実験を実施（100%補助）しており、今年度、本県では当該社会実験の他に紫波町、東和町で実施しました。行政の他にもNPOや民間企業を主体とした協議会等での応募も可能です。

3. 実験概要

大通り商店街の疲弊は危惧されており、個々の危機意識はあるものの全体としての抜本的な対策はなされていませんでした。そこで、まちづくり関係で活躍されている久木田禎一氏が代表を務める「いわてNPOフォーラム21」が中心となり「歩いて楽しむまち」としての街の魅力を市民に体感してもらい、その有効性や課題を検証するために社会実験を実施することとなりました。

◇期間

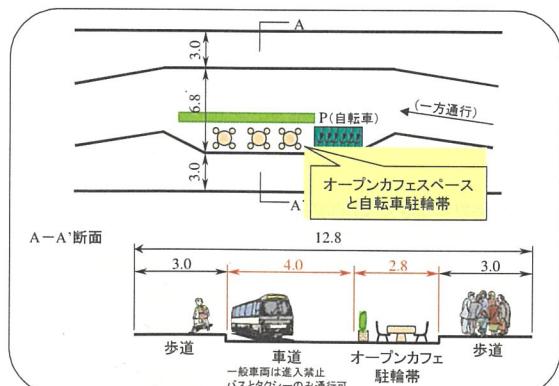
第1クール 10月2日(土)～10月10日(日)

第2クール 10月23日(土)～10月31日(日)

※時間はいずれも11:00～18:00

◇実行予算

1,000万円（国土交通省道路局社会実験）



◇実験項目

- トランジットモール化 … 交通規制により一般車両を進入禁止、『でんでんむし大通り号』(循環バス)、タクシーのみ通行可(但し走行速度は 10km/h 以下)

- パーキングチケットスペースの活用 … 全 38 台分の駐車帯をオープンカフェ、駐輪帯として活用

◇調査、分析

- 自動車交通量調査(周辺への影響調査)、自転車歩行者通行量調査(集客力、賑わいの創出への影響調査)

- 来街者、商店街へのアンケート調査

◇その他(一般市民への啓発、共通認識を高める機会の創出)

- セミナー(計 5 回)、フォーラム(2月 19 日(土)開催)

4. 実験結果

①復活した歩行空間

今回の実験の最大の成果。来街者、商店主とともに高評価であり、悪天候にもかかわらず歩行者数は増加した。

②循環バスの運行

利用者は目標には届かなかったが、時間、曜日を問わず安定した利用があった。アンケートでも高評価であったことから十分にポテンシャルを持った路線であると考えられる。

③タクシー運行は是か非か?

タクシーの走行速度が速く、危険であるという声が多数寄せられた。

④トランジットモールの理解不足

大通りでは夏季の週末に歩行者天国が実施されているため、歩行者天国と勘違いをして安全を確認せずに道路を横断する姿が多数見受けられた。

⑤周辺部への影響

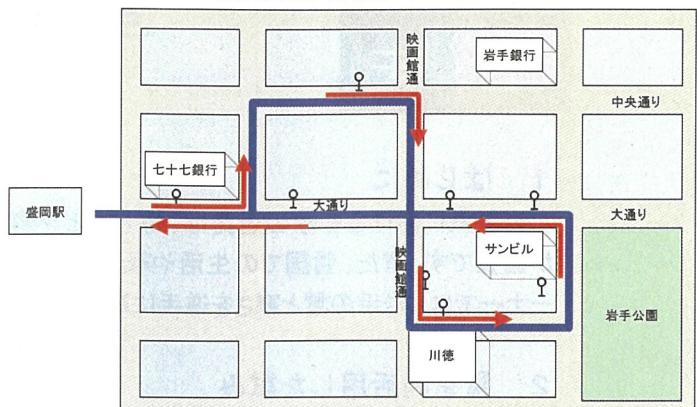
実験時間中の大通りの一般車両交通量は約 1,800 台である。実験期間中は周辺部において渋滞が発生したが、天候の影響、荷捌き車両の停車の影響も考えられ、因果関係を明確にするまでには至らなかった。



小型循環バス(でんでんむし大通り号)の経路

運行: 午前 11 時から午後 6 時まで、20 分間隔で運行、1 周 25 分。

運賃: 大人 100 円 子ども 50 円



大通りの交通規制: 期間中の午前 11 時から午後 6 時まで、一般車両の進入禁止。ただし、大通りを横切ることは可。(タクシー、バスは通行可)



⑥オープンカフェ

悪天候により当初は来客が少なかったが、日数を重ねることにより売り上げは増加。景観的に良いアクセントになった他に、大通りに不足していた休憩スペースとして、お年寄りが利用する姿も見受けられた。しかし、開催時期に問題があったことは否めない。

⑦車両進入禁止の問題点

来街者と商店主との間で評価が分かれた。(しかし、商店主の回収率が 15% と低いため単純に比較はできない) 恒久的実施においても来街者は支持したが、商店主は曜日限定の実施を支持しているようである。(従来の歩行者天国に循環バスを加えたイメージ)

新聞への投書や商店主の意見では、「自動車が行きかうことでも賑わいの一部である」という意見も出されました。また、荷捌き車両への対応も問題点として挙げられました。

5. おわりに

アンケート結果等の社会実験の詳細はホームページにて公表しております。

<http://www.iwate-npo.net/inf21/cinema/cinema.htm>